

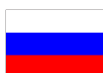
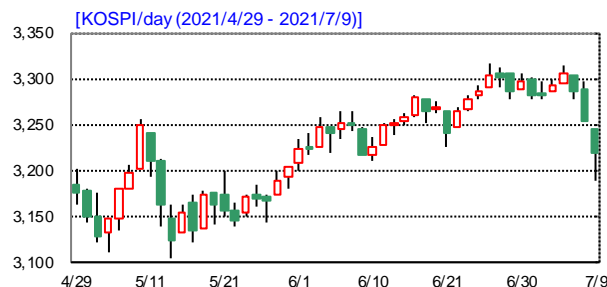


【韓国】 総合指数は週間で 1.9%安と続落、コロナ感染拡大が懸念材料

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.9%安と続落。週明け 5 日は米国の利上げが予想より遅くなるとの見方から買いが広がり、3 営業日ぶりに反発。6 日はハイテク株主導で心理的節目の 3300 ポイントに乗せると、終値の過去最高値を更新した。サムスン電子が 7 日に発表した 2021 年 4-6 月期決算（速報値）は営業利益が前年同期比 53%増の 12 兆 5000 億ウォンに上り、市場予想を上回った。ただ、新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、7-9 日は 3 日続落。感染者数が過去最多を記録したことで、ソウルと周辺地域の防疫規制が 12 日から 2 週間にわたり最も厳しい段階に引き上げられることが決まった。今週も国内の感染状況が懸念材料。15 日に政策金利が発表される予定で、過去最低の 0.5%に据え置かれるとの見方が優勢。

▼指数チャート

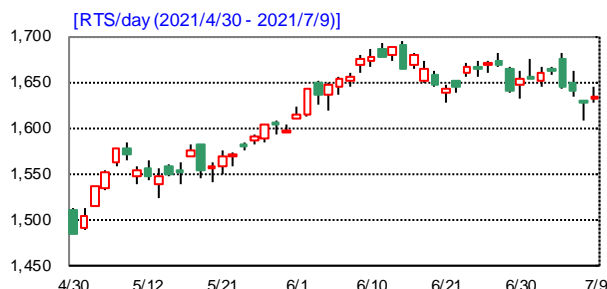


【ロシア】 RTS 指数は週間で 1.5%安と続落、今週はもみ合う展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 1.5%安と続落。原油安や対ドルでのルーブル安が重しとなった。週明け 5 日は原油高を好感し、前週末比 0.3%高となったが、6 日は原油安やルーブル安を受けて 5 営業日ぶりに反落すると、8 日まで 3 日続落した。指数は 8 日に一時、5 月 31 日以来の水準に下落し、1635.04 ドルで週の取引を終えた。ブレント原油相場は前週末の 76.17 ドルから 8 日に 72.11 ドルまで下落し、75.55 ドルで終了。ルーブルは対米ドルで 1.7%下落した。個別では、ダイヤモンド採鉱のアルロサが 3.8%、エネルギーのガスプロムが 3.4%、鉄鋼のセヴェルスターリが 3.2%上昇した一方、エネルギーのタトネフチが 3.6%、ルクオイルが 2.8%、ノバテクが 2.7%下落した。今週は原油・ルーブル相場をにらんでもみ合う展開か。

▼指数チャート



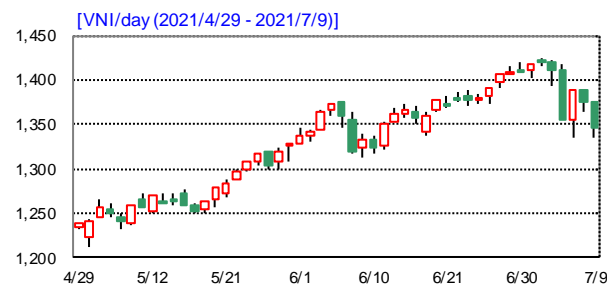
【ベトナム】 ベトナム指数は 5.1%安と 4 週ぶり反落、今週もコロナ感染拡大が重し

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は 5.1%安と大幅に 4 週ぶりに反落。コロナ感染拡大防止を目的とする航空機の発着禁止措置が嫌気された。週明け 5 日は国内勢と海外勢がそろって売り越し、指数は前週末比 0.6%安と 3 営業日ぶりに反落すると、6 日は 4.0%安と急落。新型コロナ新規感染者数が 2 日連続で 1000 人を超え、感染拡大防止のために主要都市で航空機の発着を禁止したことで景気悪化懸念が強まった。指数は 7 日に 2.5%高と反発したが、週後半に続落。9 日は約 1 カ月ぶりの安値で引けた。個別では不動産のノー・バー・ランド、ゴム製品のベトナム・ラバーが 2 桁安。鉄鋼のホア・ファットが 9.6%、金融のベトインバンクが 7.9%、不動産のビンググループが 7.6%下落し、指数を押し下げた。今週はコロナ感染拡大が引き続き重しか。

▼指数チャート

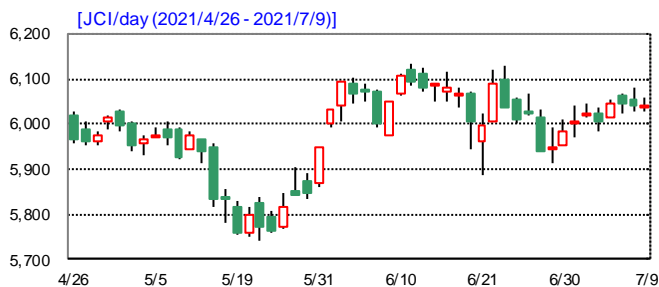


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.3%高、今週は 6 月の貿易統計に期待

ジャカルタ総合指数は週間で 0.3%高と 3 週続伸。国内の経済イベントが少ない中、狭いレンジでの値動きが続いた。週初の 5 日は、新型コロナウイルスによる死者数の増加が嫌気され、5 営業日ぶりに反落。6 日は反発したものの、7 日は 6 月開催の米 FOMC 議事要旨の公表を目前に控えた様子見で小幅に下落した。8 日は「デルタ株」の広がり、感染者数の急増が続いている影響で売られると、9 日は前日からほぼ横ばいで取引を終えた。今週は 15 日に 6 月の貿易統計、16 日に 5 月の小売売上高が発表される予定。外部要因では、15 日発表の中国の 4-6 月期の GDP や 6 月の鉱工業生産が焦点になりそうだ。

▼指数チャート

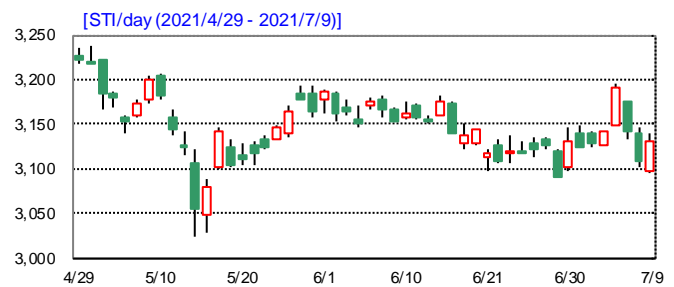


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.1%高、今週は 14 日に 4-6 月期の GDP 速報値発表

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.1%高と小幅続伸。週末の反発が奏功した。週初の 5 日は、前週末の NY ダウが 6 月の雇用統計の内容が堅調だった効果で過去最高値を更新した流れを引き継ぎ続伸。6 日は新型コロナの感染対策で導入されている制限措置の段階的な緩和やワクチン接種の増加が好感され、前日比 1.6%上昇した。一方、7 日は前日に NY ダウが下落した影響で 1.5%安と 4 日ぶりに反落すると、8 日はさらに 1.1%安と続落したが、9 日は反動で買い戻されている。今週は 14 日に 4-6 月期の GDP 速報値、16 日に 6 月の非石油地場輸出が発表される予定で、市場予想から上振れすれば好材料。

▼指数チャート

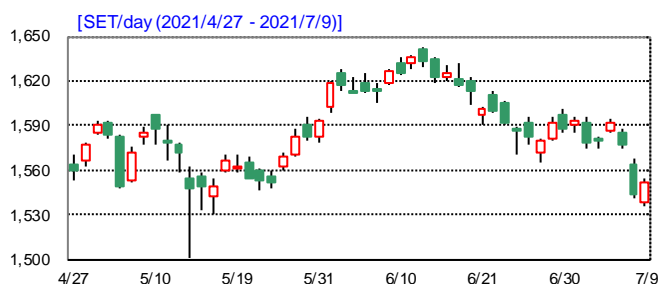


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.7%安、12 日からバンコクなどで事実上の都市封鎖導入

SET 指数は週間で 1.7%安と 4 週続落。行動制限強化の発表が指数を押し下げた。週初の 5 日に小幅反発すると、6 日は OPEC プラス閣僚会議の決裂を受けて原油供給不足への懸念が広がり、先物価格が上昇した効果でエネルギー株が買われて続伸。ただ、7 日に反落すると、8 日は新型コロナウイルス感染による 1 日当たりの死者数が過去最多となり、保健省が規制を強化する方針を示した影響で売られ、指数は前日比 2.1%安と続落したが、9 日は 3 日ぶりに反発して引けた。今週は国内の経済イベントが少ない中、12 日からバンコクなどで導入された夜間外出の原則禁止を含む規制に対する市場の反応が焦点。

▼指数チャート

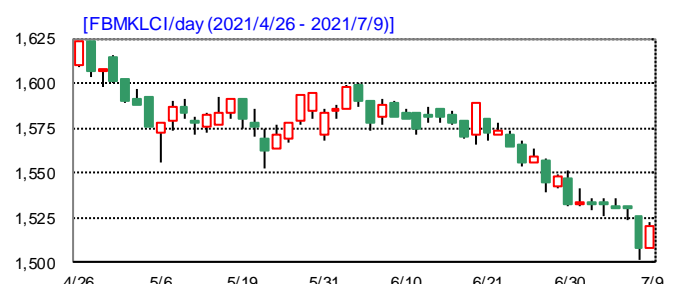


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.8%安、連立与党がムヒディン首相に辞任を要求

クアラルンプール総合指数は週間で 0.8%安と 3 週続落。週末に反発したが補えなかった。週初の 5 日は買い材料に乏しく指数は続落。その後も新型コロナウイルスの感染者数の高止まりが嫌気され、7 日まで狭いレンジながら下落が続くと、8 日は連立与党最大勢力の統一マレー国民組織 (UMNO) がムヒディン首相に辞任を要求した影響で、前日比 1.4%安とさらに下値を広げた。ただ、9 日は反動で買い優勢の展開となり、6 営業日ぶりに反発して引けている。今週は 12 日発表の 5 月の鉱工業生産と小売売上高に対する市場の反応が焦点となるほか、連邦議会の再開を 26 日に控え、混迷する政局の動向も注目される。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。